

数 量 調 書

配水管:数量調書

名称	形状寸法	単位	合計	対 象 図 面		
				配管詳細図1-1		
				管割図	延長集計表	
(管材費)						
水道配水用ポリエチレン管	EF受口付 φ 150	m	95.0		95.0	
水道配水用ポリエチレン管	プレーンエンド φ 150	m	7.0		7.0	
EF両受ベンド	φ 150×45°	個	2.0		2.0	
EF両受Sベンド	φ 150×300H	個	1.0		1.0	
K形铸铁管用異種管継手	φ 150	個	1.0		1.0	
ソフト弁付割T字管K形受口	φ 150×φ 150(塩ビ管用)	個	1.0		1.0	
不断水簡易仕切弁	φ 150(塩ビ管用)	個	1.0		1.0	
K形特殊押輪	φ 150、3DkN	個	1.0	1.0		
メカ形キャップ	φ 150	個	1.0	1.0		
(材料費)						
仕切弁ボックス	H=1000用	組	2.0	2.0		
埋設表示シート	アルミ入、ダブル	m	104.4		104.4	
(労務費)						
ポリエチレン管布設工	φ 150(融着接合(EF接合))	m	104.4		104.4	
ポリエチレン管切断	φ 150	口	3.0	3.0		
ポリエチレン管継手	φ 150(融着接合(EF接合))1口	口	25.0	25.0		
メカニカル継手	φ 150(特殊押輪)	口	1.0	1.0		
メカニカル継手(ポリエチレン管)	φ 150	口	1.0	1.0		
不断水連絡工	φ 150×φ 150	箇所	1.0	1.0		
不断水簡易仕切弁取付	φ 150	箇所	1.0	1.0		
仕切弁ボックス設置工	H=1000用	組	2.0	2.0		
ポリエチレンスリーブ被覆	材料含む φ 150mm 粘着テープ	m	0.8	0.8		
埋設標示シート工		m	104.4	104.4		
(土工)						
土工断面1	市道 車道 片切 H=0.6 φ 150	m	92.3	92.3		
土工断面2	市道 車道 両切 H=0.6 φ 150	m	11.2	11.2		
不断水土工断面1	市道 車道 不断水分岐 φ 150×φ 150 H=1.0	箇所	1.0	1.0		
不断水土工断面2	市道 車道 不断水簡易仕切弁 φ 150 H=1.0	箇所	1.0	1.0		

管路延長集計

対象図面:配管詳細図 1

1) 水道配水用ポリエチレン管布設延長(φ150)

①直管

	寸法	本数	延長(m)
HPPE(EF受口付)	φ150×5.0	19.0	95.000
計			95.000

②切管

	口径	延長(m)	
HPPE(フレンチ受口)	φ150	3.500	A1-1
※1本当たり L=5.00m		2.500	A2-1
		1.000	A2-2
計		7.000	

③異形管(布設延長に計上)φ150

	形状寸法	寸法	数量	延長(m)
EF両受ベンド	φ150×45°	0.450	2.0	0.900
EF両受Sベンド	φ150×300H	0.760	1.0	0.760
K形铸铁管用異種管継手	φ150	0.760	1.0	0.760
計				2.420

④異形管(設置工に計上する為、管布設延長に計上しない)φ150

	形状寸法	寸法	数量	延長(m)
ソフト弁付割T字管K形受口	φ150×φ150(塩ビ管用)	0.400	1.0	0.400
不断水簡易仕切弁	φ150(塩ビ管用)	0.430	1.0	0.430
計				0.830

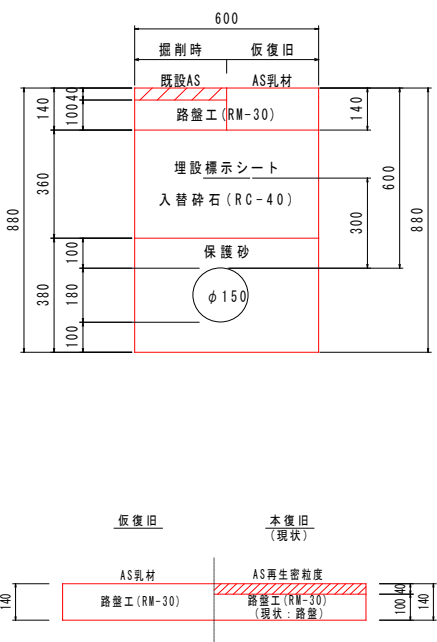
⑤土工

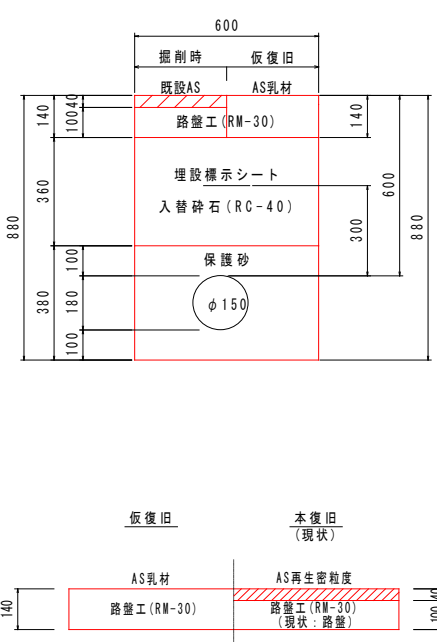
		延長(m)
土工断面1	L=93.8-1.50	92.3
小計		92.3
土工断面2	L=105.0-93.8	11.2
小計		11.2
不断水土工断面1	1箇所(延長計上しない) L=1.5m	1.0
小計		1.0
不断水土工断面2	1箇所(延長計上しない)	1.0
小計		1.0
計		103.5

	延長集計根拠	延長集計	設計計上延長
(1)布設延長φ150	①+②+③	104.420 m ㍿	104.4 m
(2)ポリエチレンスリーブ被覆φ150	④	0.830 m ㍿	0.8 m
(3)埋設標示シート工	①+②+③	104.420 m ㍿	104.4 m

配水管:土工集計表

名称	形状寸法	単位	設計計上	合計 92.3m	対 象 図 面									
					土工断面1		土工断面2		不断水土工断面1		不断水土工断面2			
					m当り	92.3	m当り	11.2	箇所当り	1.0	箇所当り	1.0		
舗装版切断工	AS版 15cm以下	m	126.0	126.100	1.000	92.300	2.000	22.400	6.400	6.400	5.000	5.000		
舗装版取壊し・積込工	舗装厚10cm以下	m2	65.0	65.400	0.600	55.380	0.600	6.720	1.740	1.740	1.560	1.560		
管路掘削		m3	57.0	56.664	0.504	46.519	0.504	5.645	2.458	2.458	2.042	2.042		
管路埋戻	保護砂(転圧有)	m3	23.0	22.562	0.203	18.737	0.203	2.274	0.962	0.962	0.589	0.589		
管路埋戻	入替碎石(RC-40)	m3	25.0	24.864	0.216	19.937	0.216	2.419	1.322	1.322	1.186	1.186		
路盤工	RM-30 t=14cm	m2	65.0	65.400	0.600	55.380	0.600	6.720	1.740	1.740	1.560	1.560		
AS乳剤散布	PK-3	m2	65.0	65.400	0.600	55.380	0.600	6.720	1.740	1.740	1.560	1.560		
AS殻処理		m3	3.0	2.616	0.024	2.215	0.024	0.269	0.070	0.070	0.062	0.062		
発生土処理	土砂	m3	57.0	56.664	0.504	46.519	0.504	5.645	2.458	2.458	2.042	2.042		
カッター汚泥運搬処分		t	0.2	0.160	V=0.023×0.04×126.1=0.116m3 G=0.116×1.4=0.16t									
(本復旧)														
管路掘削		m3	3.0	2.616	0.024	2.215	0.024	0.269	0.070	0.070	0.062	0.062		
発生土処理	CON	m3	3.0	2.616	0.024	2.215	0.024	0.269	0.070	0.070	0.062	0.062		
不陸整正	補足材無	m2	65.0	65.400	0.600	55.380	0.600	6.720	1.740	1.740	1.560	1.560		
AS舗装工	t=4cm	m2	65.0	65.400	0.600	55.380	0.600	6.720	1.740	1.740	1.560	1.560		
(防護コンクリート)														
コンクリート	18-8-40	m3	0.1	0.144							0.144	0.144		
型枠		m2	1.0	0.960							0.960	0.960		

算式根拠となる土工断面図	工 種	形状寸法	単位	計 算 式	1m当り数量
土工断面1 市道 車道 片切 H=0.6 φ 150 	舗装版切断工	AS版 15cm以下	m		1.000
	舗装版取壊し・積込工	舗装厚10cm以下	m2	0.600×1.000	0.600
	管路掘削		m3	0.600×0.840	0.504
	管路埋戻	保護砂(転圧有)	m3	$0.600 \times 0.380 - 0.025$	0.203
	管路埋戻	入替碎石(RC-40)	m3	0.600×0.360	0.216
	路盤工	RM-30 t=14cm	m2		0.600
	AS乳剤散布	PK-3	m2		0.600
	AS殻処理		m3	0.600×0.04	0.024
	発生土処理	土砂	m3	掘削	0.504
	(本復旧)				
	管路掘削		m3	0.600×0.04	0.024
	発生土処理	CON	m3	掘削	0.024
	不陸整正	補足材無	m2		0.600
	AS舗装工	t=4cm	m2		0.600
※φ150断面積: $0.180^2 \times 3.14 \div 4 \div 0.025$					

算式根拠となる土工断面図	工 種	形状寸法	単位	計 算 式	1m当り数量
土工断面2 市道 車道 両切 H=0.6 φ 150 	舗装版切断工	AS版 15cm以下	m		2.000
	舗装版取壊し・積込工	舗装厚10cm以下	m2	0.600×1.000	0.600
	管路掘削		m3	0.600×0.840	0.504
	管路埋戻	保護砂(転圧有)	m3	$0.600 \times 0.380 - 0.025$	0.203
	管路埋戻	入替碎石(RC-40)	m3	0.600×0.360	0.216
	路盤工	RM-30 t=14cm	m2		0.600
	AS乳剤散布	PK-3	m2		0.600
	AS殻処理		m3	0.600×0.04	0.024
	発生土処理	土砂	m3	掘削	0.504
	(本復旧)				
	管路掘削		m3	0.600×0.04	0.024
	発生土処理	CON	m3	掘削	0.024
	不陸整正	補足材無	m2		0.600
	AS舗装工	t=4cm	m2		0.600
※φ150断面積: $0.180^2 \times 3.14 \div 4 \div 0.025$					

1日当り試験距離・・・実務必携より

口 径	φ 150以下	φ 200～300	φ 400～600	φ 700～800
既設管と連絡せず 給水車で注入する場合	1000m～1500m	500m～1000m	300m～500m	300m以下
既設管と連絡して 給水車が不要の場合	500m～2000m			

備考 4. 通水試験工の1日当り試験距離以下の日数の算出は、次式による。ただし、1日当り試験距離は適用範囲の最小値とする。

※ 通水試験(日)＝通水試験距離(m)/1日当り試験距離(m)

例) φ 150以下で通水試験延長が560mの場合 $560/1000=0.56$ 日

本工事 既設管と連絡して給水車が不要: $104.4/500=0.209 \div 0.21$ 日